

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケアステキっず精華		
○保護者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2025年3月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2025年3月1日		～ 2025年3月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様の日常生活、清潔保持、家族様の負担軽減につながるよう医療的ケアが必要な方へも入浴支援を実施している	入浴前には全身状態の確認、看護職員と健康面の確認をし実施している。吸引等の医療ケアが必要時にはすぐに対応出来るよう連携を図っている。また個々の状態に合わせた入浴方法で実施をしている。	身体面や医療ケアの変更時も変わらず入浴支援が出来るようにしていく
2	常時看護職員がいるため医療ケアの実施、緊急時の対応が迅速に出来る	利用開始時には家族様や相談員の方にケアについて説明を受け安心して過ごしてもらえるようにしている。また緊急時ファイルを作成し迅速に対応できるようにしている	看護職員がメインで作成をしているため全職員が把握しやすいようにしていく
3	土曜祝日も営業をしており、長期休みは長時間の利用も可能となっている。また送迎も実施しており、送迎先変更等も柔軟に対応をしている	家族様の負担軽減に繋がると考え、利用時間や送迎時間の変更等は柔軟に対応をしている。また必要時には看護職員が同乗し安心して送迎出来るようにしている	家族様と職員との連携がより取れるようにし、安心して利用できる事業所となるようにしていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時のマニュアルは整っているが、実際の緊急時に全職員がスムーズに対応出来るようにする必要がある	職員一人一人の理解度の違いや経験値の違いもある。また重症度の高さからどのような対応をした良いかわからない職員がいる	実在するマニュアルではなく、分かりやすいマニュアルの作成、訓練が必要である
2	入浴支援、レクリエーションと放課後利用時はひとりひとりと関わる時間が少なく、個々に合った支援の時間が短い	放課後利用時は遠方より利用されている方もおり送迎時間もかかってしまうため、個別ニーズへの対応が難しくなっている。	短時間でも個別支援が出来るよう計画、プログラムの見直しをし、実施出来るよう心掛けをする